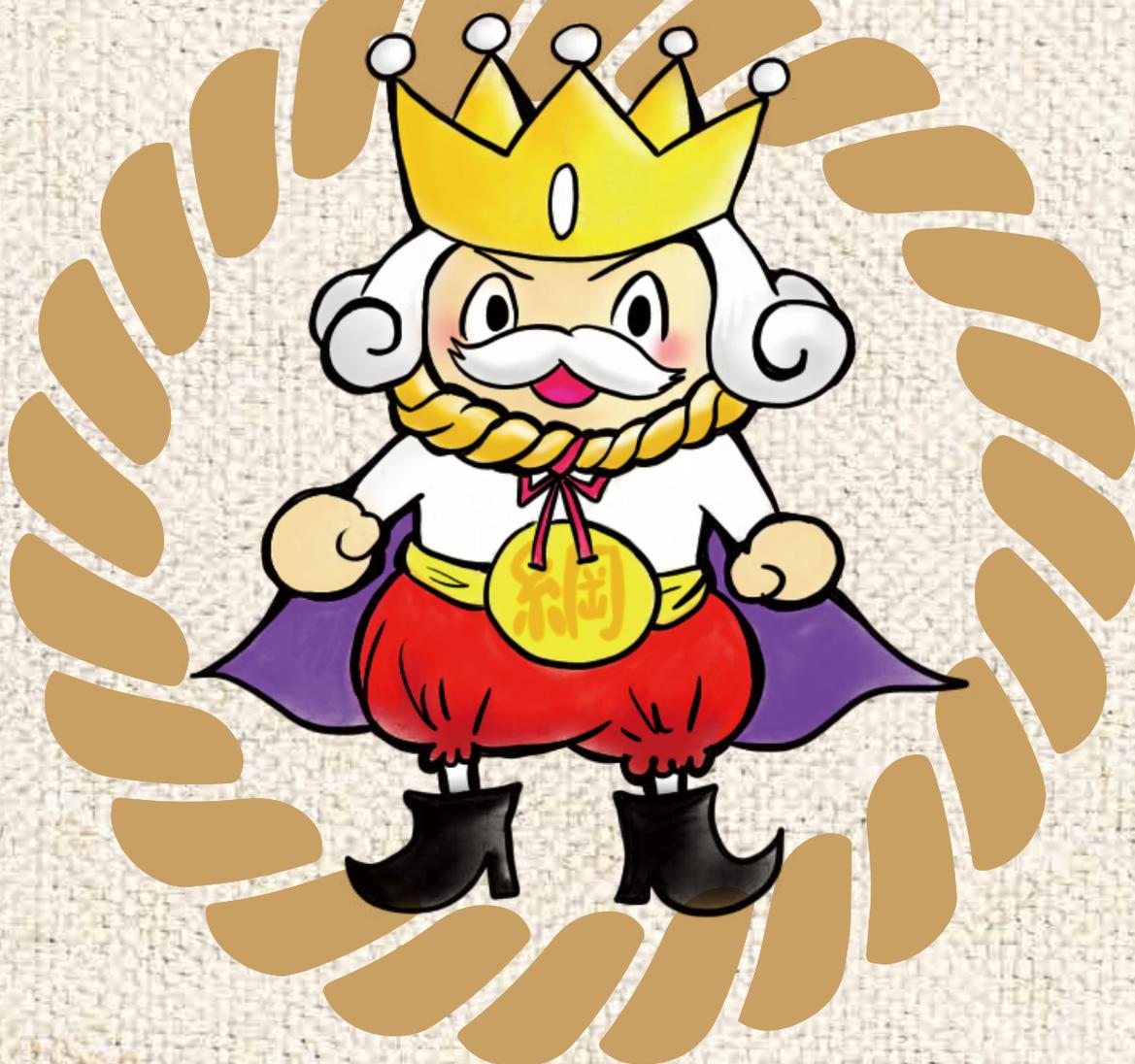


つなひキングの
綱引
歴史探訪

つなひキングじゃ！
わしが案内するぞい！

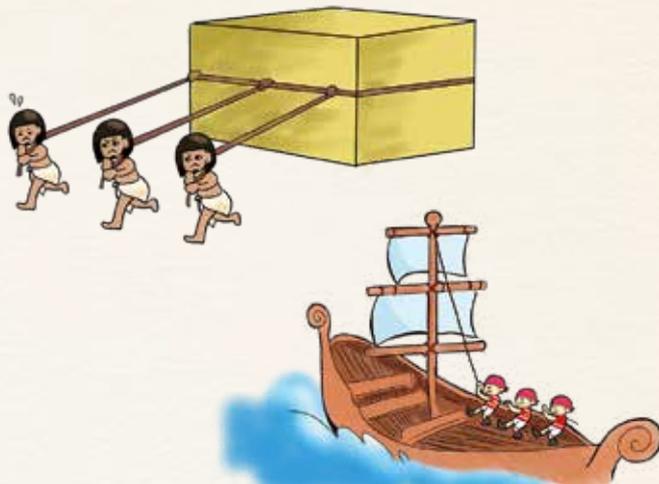


綱引きの歴史

つな おも うご 綱をひいて重いものを動かす

せいかつ くふう はじ つなひ 生活の工夫から始まった「綱引き」

皆さんは重いものを運ぶとき、どうしますか？ 例えば、旅行カバンの代わりに車輪がついたスーツケースを使うかもしれません。しかし、それは便利なものが開発された現代の話。大昔から、人は大きな重いものを動かすとき、ロープのようなものを利用して、引っ張って動かしてきました。古代の巨大建造物を作るために大きな石を運ぶとき、あるいは大きな帆船の帆をあげるときにも、大勢でロープを引いていました。古代から「綱引き」は生活の中で使われてきたのです。



いかり



綱引きの競技では一番後ろの選手を「アンカー」と呼ぶが、これは船の「いかり」を意味してるぞ。また運動会でかっつて聞かれた「オーエス」というかけごえは、船の帆をあはるときの掛け声から来ているそうじゃ。綱引きと船、何とも深〜い関係があるんじゃのお〜。

かみがみ つなひ 神々もおこなった綱引き？

せかい のこ つなひき きげん 世界に残る「綱引き」の起源

世界各地には、古代の壁画や建造物に、神さまがおこなった綱引きの様子が残されています。サッカラ（エジプト）の紀元前 2500年も昔の古墳に、綱引きの模様が彫られている壁画が発見されています。その一つが「メレルカのmastaba墳」です。メレルカは第六王朝の初代王テティに仕えた宰相です。





カンボジアの古代遺跡アンコールトムにも神様の「綱引き」の様子が残されています。南大門には、左側に神、右側に阿修羅が並び、それぞれの一番手前には蛇の神ナーガがおり、南大門を挟んでナーガが綱引きを行っている様子だと伝えられています。これはヒンドゥー教の天地創世の神話、「乳海攪拌」を表しています。この様子は壁画にもなっています。

にほん しんわ せかい つなひ 日本の神話の世界にも「綱引き」

日本では、出雲風土記の「国引き」伝説などがよく知られています。出雲の創造神、八東水臣津野命（やつかみずおみつぬのみこと）は、出雲の国をどこか別の国と縫いつけて大きくしようと考えました。そこで隣の国の土地を切り離し、丈夫な綱をかけて引っ張り、出雲の国にくっつけた、と伝えられています。



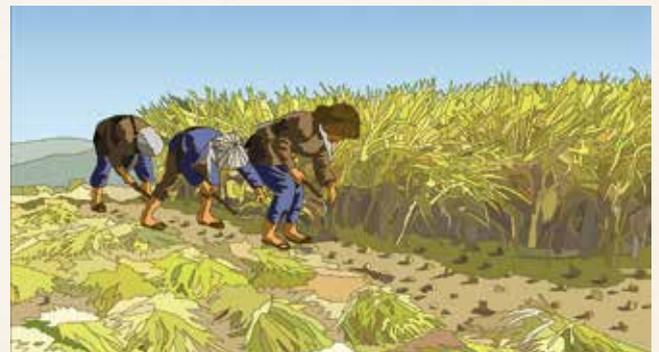
“国引き神話”のレリーフ
道の駅 大社ご縁広場（島根県出雲市）



出雲観光協会

かみ ささ 神さまへの捧げもの

やがて「綱を引く」ということは、世界各地で、五穀豊穡を祈る行事、争いごとをしずめる手段など、神様への儀式、信仰となっていきました。現在でも多くの国で伝統行事として引き継がれ、農業や漁業によって生活してきた日本でも、各地に多くの行事が残されています。例えば雨組と干ばつ組に分かれて綱を引き、雨の必要な田植えの時期には雨組に勝ってほしいので、雨組は勝利を目指して頑張ります。同様に、陸側と海側とに分かれて綱引きをして、海側が勝てば大漁、陸側が勝てば豊作と言われているところもあります。



昔はビルマやインド、朝鮮、ハワイ、ニューギニアなど、アジアの国々でも、古くから綱引きが行われてきたぞ。
エスキモーは、冬の訪れが早いかわ遅いかを占うため、
秋に綱引きを行っていたそうじゃ。
世界を見れば、もっと面白い綱引きの歴史が見られるかもしれんのう～



綱引きの歴史

せいかつ なか ね つな ひ 生活の中に根づく綱引き

あそ しょう ぶ しゅだん 遊びや勝負の手段になった

日本では、飛鳥、奈良時代の蹴鞠（けまり）などと同様、綱引きも貴族の遊びとして行われていたようです。また、鎌倉、室町時代に入ってから、庶民の遊戯として親しまれており、書物や絵画にその風景が残されています。

うえずぎぼん らくちゅうらくがい ずびょう ぶ ●上杉本『洛中洛外図屏風』

天正2年（1574）に織田信長が上杉謙信に贈ったもの。絵は狩野永徳、時代は室町時代と伝えられています。子どもが正月に綱引きをする場面が描かれています。屏風には他にも四季折々の風物や行事が描かれていて、当時の庶民の生活を垣間見ることができます。



所蔵 米沢市上杉博物館



所蔵 名古屋城総合事務所

な ご やじょうほんまる ごてんたいめんじょしょうへきが ●名古屋城本丸御殿対面所障壁画

名古屋城本丸御殿は慶長17年（1612）に着工し、元和元年（1615）に完成した殿舎で、襖絵は狩野貞信を中心とした狩野派の画家によって描かれた、和歌山の町の風景とされています。綱引きが、江戸や京都だけでなく、地方でも遊びの中に浸透していたことが分かります。

だい にほんねんちゅうぎょう じたいぜん ●『大日本年中行事大全』

大津 正月14、15日の綱引き。速水春暁斎著、森川保之画、天保3年（1832）刊

鳥居の下で大人が綱引きを行っている様子が描かれています。江戸時代には、綱引きが単なる子どもの遊びではなく、その年の吉凶を占う神事として行われていたことを示しています。



所蔵 早稲田大学図書館



まだ遊びの少なかった時代、綱引きは貴重なゲームだったようじゃな。子どもも大人も楽しそうじゃのう〜。
次は、今でも各地に残る綱引きのお祭りを見てみるぞ〜。

日本各地の綱引き祭り

げんだい う つ おおつなひ 現代に受け継がれる大綱引き



綱引きは、現在でもいろんな地域で伝統行事として行われておるんじゃ。国の重要無形民俗文化財に指定されているものもあるぞ。

あきた げんだいせんし かりわ の おおつなひ 秋田県大仙市「刈和野の大綱引き」



刈和野の大綱引きのはじまりは、平将門の一族がこの地に移り住んだ室町時代にさかのぼると言われています。上町（二日町）、下町（五日町）に分かれ、上町が勝つと米の値段が上がり、下町が勝つと豊作になると伝えられています。引き合いに使われる大綱は、長さが雄綱 64m、雌綱約 50m、重さ各々 10t と、国内最大級の大綱です。

大仙市「大綱交流館」と「大綱の里伝承館」

大綱交流館



大綱の里伝承館

秋田県大仙市にある「大綱交流館」と「大綱の里伝承館」。「大綱交流館」には、国指定重要無形民俗文化財「刈和野の大綱引き」に関する資料と工芸作品等が展示された展示コーナーが設けられ、地元の人々によって『刈和野の大綱引き』の継承がなされています。



提供 大仙市大綱交流館

日本各地の綱引き祭り

おきなわさんだいつなひ 沖縄三大綱引き

沖縄県でも古くから各地で大綱引きが行われてきました。古くは琉球王朝時代（1429年～1879年）にその起源をさかのぼるものもあります。

沖縄の三大綱引きとして、那覇市の「那覇大綱挽」、与那原町の「与那原大綱曳まつり」、糸満市の「糸満大綱引」が有名です。



な は おおつなひき 那覇大綱挽

那覇大綱挽の発祥は、西暦1450年頃だとされています。「みーんな（女綱）」、「をーんな（男綱）」を「かめち棒」で結合させて、西東に分かれて綱を挽き合います。綱は陰と陽の結合を意味するとされ、子孫繁栄を願う行事となっています。

1995年には、ギネスブックによって「世界一のわら綱」として認定されました。今でも沖縄最大の伝統行事として毎年大きな盛り上がりを見せています。



提供 那覇大綱挽保存会・那覇市

よ な ぼる おおつなひき 与那原大綱曳

与那原大綱曳は、沖縄で一番華やかで力強い綱引きとして有名です。

また与那原町には、綱引きにまつわる民話も残されています。かつて村に害虫が発生し、稲が不作で人々が困っていたとき、一人の老人が「野山の草を集めて焼き、皆で鐘やドラを叩き、大声を出しながら綱を曳くように」と伝えました。老人の言葉に従い綱引きをしたところ、害虫はいなくなったということです。



提供 与那原町

いとまんおおつなひき
糸満大綱引

糸満の大綱引は、古式伝統を守り、祝日ではなく旧暦の8月15日に行います。そのため、別名「ハチグッチ・ジュウグヤー」または「ジュウグヤー」とも呼ばれています。

糸満大綱引も、大漁祈願、家内安全、無病息災などを祈る神事です。綱作りに用いられるわらは総重量で約10t、綱の太さは最大で直径1.5m、長さは合計180mにも及びます。大綱は雄綱（ウージナ）、雌綱（ミージナ）からなり、南北に分かれて綱を引き合います。



提供 糸満市

かごしまけんさつませんだいし
鹿児島県薩摩川内市

せんだいおおつなひき
「川内大綱引」

川内大綱引は、慶長年間（1596～1614年）に始まったとされ、一説には関ヶ原の合戦の際、島津家第17代当主・島津義弘が兵士の士気を高めるために始めたと言われています。

上方（赤）と下方（白）に分かれ、太鼓隊・引き隊・押し隊・ワサ係・ワサ払いといった部隊がそれぞれの役目を担い、勇敢に引き合う大綱引です。



提供 薩摩川内市

稲わらだけでなく、
菖蒲（しょうぶ）やすすきで綱を
作る地域もあるぞ。それぞれに地
域の伝統を大切にして、
今に引き継いでおるんじゃのお～。



近代綱引競技 歴史の幕が上がった!! ①

綱引きの歴史をめぐる旅も、いよいよ近代へ突入じゃ。
準備はいいかのお。さあ、参るぞよ〜。



競技としての綱引

古くは紀元前 1000 年頃、その時代のスカンジナビアとドイツの英雄のチャンピオンが「力の試合」(Krafting Spiele : 英語で Power Game) という競技会に参加していたと言われています。また中世の 12~14 世紀には、綱引きは中国や蒙古、トルコなどで、宮廷での競技として行われていました。15~16 世紀には、フランスやイギリスで綱引のトーナメント競技も開催されています。

近代スポーツとしての綱引に大きな影響を与えたのはイギリスです。船乗りや軍隊の体力づくりやチームワークを高めるために、綱引を行ったと言われています。

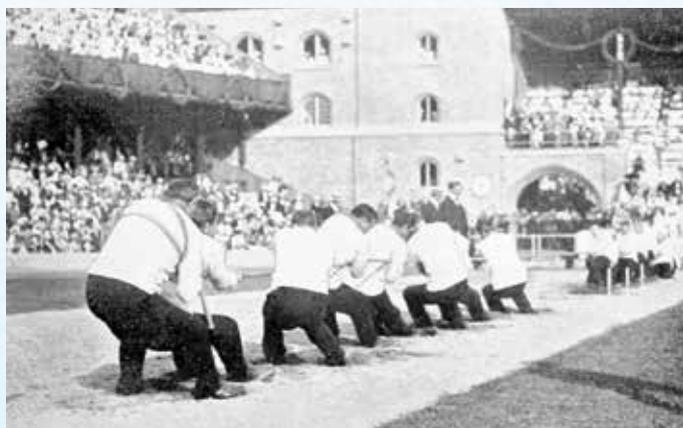
※日本綱引連盟では、競技としてのつなひきを「綱引」と表記しています。

オリンピック競技にもなっていた!



ヨーロッパを中心に近代のスポーツが組織化されるようになり、1896 年、古代ギリシャのゲームにならってオリンピックが復活されました。そして、1900 年の第 2 回パリ大会から 1920 年のベルギーのアントワープ大会まで、綱引競技はアスレチック競技の種目として行われていたのです。

残念ながら種目の増加等により、1920 年を最後に綱引競技はプログラムから削除されてしまいましたが、その後も世界中のお祭りやスポーツフェスティバルの中で行われることとなります。



Tug of War の由来

ロープを引っ張り合う競技は、英語で "Tug of War" と名付けられました。

"Tug" は、中世の英語 "Tuggen"、さらにさかのぼると、古代スカンジナビア語の "Toga"、「力をこめてグイッと引く」ことを意味します。"War" は、中世の英語 "Werre"、さらにさかのぼると、古代ドイツ語の "Werra" の「闘争」、つまり「試合」や「競争」という意味があります。"Tug of War" は「偉大な力と不屈の努力で引っ張る競技」。今日ではスポーツとしての綱引競技を強調するために "sport" を加え、「Tug of War sport」としています。

こくさいつなひきれんめい 国際綱引連盟 TWIF の設立

スポーツの組織として、1933年に初めてスウェーデン綱引協会が設立されると、その後、1958年に英国、1959年にはオランダなども続き、1960年、ついに国際綱引連盟が設立されました。この新連盟による最初の国際競技会は、1964年のバルチックゲーム (Malmo-Sweden)、加盟国は、英国、スウェーデン、オランダ、デンマークの4カ国でした。

せかいせんしゅけんたいかいさい 世界選手権大会開催へ

TWIFは当初、ヨーロッパ選手権大会を開催していましたが、その後ヨーロッパ以外の国がTWIFに加盟するようになると、オランダにおいて最初の世界選手権大会が開催されました。この当時、綱引競技はまだアウトドアでしたが、1988年の日本で開催された国際親善大会を機に、TWIFインドアルールが制定されました。1991年には第1回インドア世界選手権大会がスペインで開催され、その後アウトドアとインドアでの世界選手権大会が隔年に開催されるようになりました。



TWIFは2002年、IOCに正式加盟が承認されました。現在では、69の国と地域が加盟する国際スポーツ連盟となり、オリンピック復活に向けて活動を強化しています。



Keystone-France/Gamma-Keystone/
Getty Images

ピエール・ド・
クーベルタン男爵

かくげん つなひききょうぎ う クーベルタンの格言は綱引競技から生まれた

フランスのピエール・ド・クーベルタン男爵は、1984年、国際オリンピック委員会 (IOC) を設立し、「近代オリンピックの父」と言われる人物。このクーベルタンが述べたとされる言葉として、「オリンピックで重要なことは、勝つことではなく参加することである」という有名な格言が残されていますが、この言葉、実は綱引競技がきっかけとなっています。

問題は1908年のロンドン大会で起こりました。勝利を収めた国に対して反則があったと別の国が抗議し、これが国同士のいがみ合いにまで発展したのです。このことを嘆いたアメリカ正教会の主教が、日曜のミサで「オリンピックで重要なことは、勝つことではなく参加することである」との教えをさとし、のちにクーベルタンがこの主教の言葉を引用したことから「クーベルタンの格言」とされ、オリンピックの精神を象徴する言葉として現在でも引き継がれています。

近代綱引競技 歴史の幕が上がった!! ②

うんどうかい 運動会のメインイベントへ

日本では、明治13年、明治天皇が吹き上げ御所で近衛兵による「綱引き」をご覧になったという記録が残されているそうです。この時期から、綱引競技は運動会などの競技種目として日本全国に広まりました。皆さんも一度は綱引をやったことがありますよね？ 学校、企業の運動会、あるいはレクリエーション大会などでは、みんなが参加できる一大イベントとして行われ、大きな盛り上がりを見せています。



にほん つなひききょうぎ たいかい 日本における綱引競技大会

国際綱引連盟の設立から遅れること約20年、日本国内での全国的な綱引競技の組織化と普及を目的として、1980年に日本綱引連盟が組織されました。日本で最初の綱引競技大会が行われたのは、1981年。東京・晴海の国際貿易センターで、東京在住の県人会を中心としたチームが参加し、「第1回全国都道府県対抗全日本綱引選手権大会」が開催されました。

この年以降、日本綱引連盟連盟の主催による全日本綱引選手権大会をはじめ、東日本綱引選手権大会、西日本綱引選手権大会や、各地域主催の大会など、多くの競技大会が開催されてきました。



大勢集まっておるのお～。
ここに居るのは各地の予選を
勝ち抜いてきた強豪チームばかりじゃ。
試合も熱いぞ！

2019年全日本綱引選手権のようす



にん ちから ひと ちょうてん め ざ 8人が力を一つにして頂点を目指す

現在、シニアの大会には16歳以上が出場できます。男女別で、国際大会などでは階級別も行われますが、現在、全日本綱引選手権は男性600kg以下、女性500kg以下で争われています。

各都道府県での予選を勝ち抜いてきたチームが一堂に会し、激しい戦いを繰り広げます。ここで優勝したチームは、世界綱引選手権大会への出場の権利を得ることができます。



こくない はしや せ かい たい かい 国内の覇者は世界大会へ！

2019年、「京都消防ろぶすたあ」が国内優勝を果たし、2020年2月、アイルランドで行われた世界インドア選手権に日本代表として出場しました。

世界のチームを見ていると、ロープの引き方も国それぞれ。アウトドア中心の国の選手たちは、大変荒々しく、力強いロープの引き方です。一方、近年強豪と言われている台湾チーム、8人のシンクロしたフォームには目を見張るばかりです。世界の強豪チームの戦いぶりに、日本チームはまだまだ学ぶところがありそうです。



 概ね30歳以上なら、誰でも参加できる世界最大級のスポーツ祭。
ワールドマスターズゲームズ2021 KANSAI / JAPAN

◀ また、2021年、日本の関西開催が予定されているワールドマスターズゲームズにおいて、綱引が正式種目となりました。概ね25歳以上の選手を中心に、世界と戦う予定です。

Tug of War sport !

かつやく カッコイイ！活躍するジュニア・ユース！

ジュニアやユースのみんなもがんばっておるぞ。
大人より体重は軽いが、みんな小さな戦士たちじゃ。
ジュニアからユース、シニアへと、みんな成長して
いってくれることを期待しておるソ！



ぜんにっぽん つなひきせんしゅけんたいかい 全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会

全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会では、ジュニア部門は、12歳以下の主に小学生4～6年生対象、ユース部門は、18歳以下の主に中・高校生を対象としています。男女とも、ジュニアは280kg以下、320kg以下、360kg以下の3階級、ユース部門は420kg以下、460kg以下の2階級で戦います。

2019年8月4日、駒沢オリンピック公園総合運動場体育館にて開催された大会では、36チーム、432名のジュニア・ユースが、日頃の練習の成果を発揮して、熱い戦いを繰り広げました。



たいかい その他のジュニア大会

その他にも、各地域の連盟主催で、小学校低学年、中学年、高学年など、学年別の大会が行われている地域もあります。京都府では毎年「小学生つな引き大会」が開催され、近年、参加チームは80以上を超えるまでに盛り上がりを見せています。低学年のみんなも頑張っています。



2019年 京都府小学生つな引き大会

つなひキング インタビュー

TSUNAHIKING INTERVIEW



チームの監督さんに話を聞いてみたよ。

みなみにわ
南庭タグウォーリアーズ
(神奈川県)

こみじゅんや
監督 小見 純也 さん



ジュニア
モンキーズ Jr おくたま
(東京都)

こやま もと き
監督 小山 元気 さん



★チーム紹介★

全日本ジュニア神奈川県代表 (6年連続)
2019年、男子 360kg で 3位入賞
メンバー：小学生 16人 (2020年12月現在)

★チーム紹介★

全日本ジュニア東京都代表
2016年、男子 360kg で準優勝
メンバー：小学生 11人 (2020年12月現在)

◎どんなチームなの？

南庭タグウォーリアーズは、神奈川県大和市にある南庭自治会の綱引き同好会からスタートしています。ですから綱引だけではなく、自治会の活動や、クリスマス会などのイベントにも、みんな一生懸命、本気で取り組む元気なチームです。

◎低学年の仲間も楽しんでおるなの？

全日本の大会への出場は4～6年生ですが、1～3年生も練習生としてチームに所属して、横浜市の大会や他チームとの交流会などで元気に頑張っています。

◎これから綱引に出合う子どもたちへひと言！

綱引は、サッカーでハットトリックを決めたり、野球でMVPを取ったりするような、そんなヒーローが1人いても勝てません。勝てば全員がヒーローで、負ければ全員の責任。かけっこやボールが少しぐらい苦手でも、みんなと力を合わせることができれば、誰にでもできるスポーツです。ぜひ僕たちの仲間になってほしいですね。

◎どんなチームなの？

モンキーズ Jr おくたまは、同じ幼稚園出身の仲間と始めたチームです。今でも近くの小学校や幼稚園のメンバーが中心なので、練習も和気あいあいと、お父さん、お母さんも参加して、楽しく活動しています。

◎綱引を通じて学べることは何じゃ？

綱引はチームスポーツですから、自分勝手な行動をしようまくいきません。練習でも試合でも、声をかけ合ったり、チームをまとめようとしたりと、みんなに自主性がつくようになると思います。

◎これから綱引に出合う子どもたちへひと言！

試合では、両チームともロープを握ったままピタッと動かないシーンなどもあって、一見地味に見えるかもしれませんが、実はなかなか深いかけ引きがあるんです。簡単なミスがきっかけで、その後の試合展開が大きく変わったりします。実際に体験してみないと分からない魅力が綱引にはたくさんあるので、ぜひ体験してみてください。

Tug of War sport !

つなひきぎょうぎ トライ 綱引競技にTRY!!



へんせい チーム編成

1チーム=選手8人+交代要員2人+監督1人+トレーナー1人の計12人編成で競技にあたります。
監督、トレーナーは選手が兼任してもOKです。



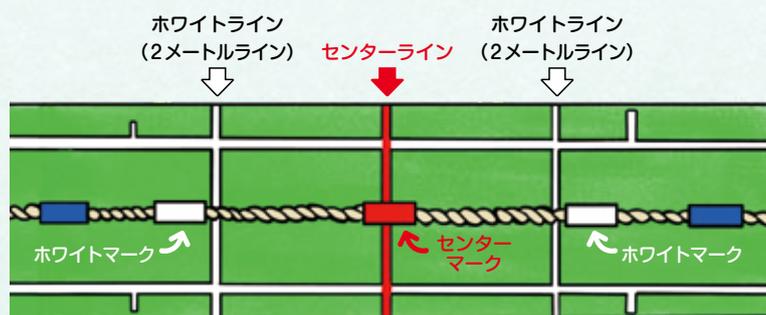
チームの一番前の選手からファースト・プレー、セカンド・プレー…と呼びます。また一番後ろの選手をアンカーと呼び、アンカーはロープを胴体に巻いたような持ち方をします。アンカーはチームの状況を把握し、的確な指示を出す重要なポジションです。



左から順に 1ファースト・プレー、2セカンド・プレー、3サード・プレー、4フォース・プレー、5フィフス・プレー、6シックス・プレー、7セブンス・プレー、8アンカー

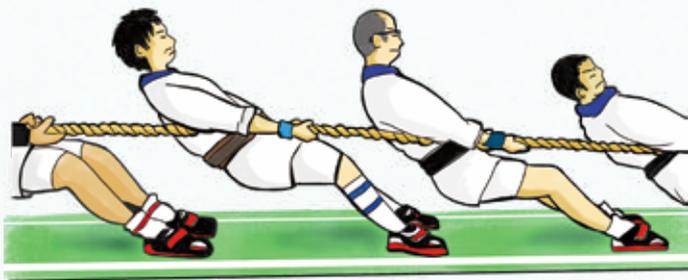
ぎょうぎ ほうほう 競技方法

競技エリアをレーンと呼びます。幅は0.9m、長さは33m以上です。レーンマットの真ん中には「センターライン」、そこから2m離れた位置に「ホワイトライン(2メートルライン)」が引かれています。ロープにも同じ位置にそれぞれマークがあり、味方エリアのホワイトラインと相手側のホワイトマークが重なる位置まで、つまり4m引き込んだチームが勝ちとなります。



使用するロープはマニラ麻で作られています。シニア部門は、ロープの太さの外周10cm以上12.5cm以下、長さは33.5m以下、ジュニア部門は太さの外周が9cm以上10cm以下、長さは28m以上と決められています。

基本のフォームを身につけよう



両手でロープをにぎり、腰から上でロープを脇に挟みます。両足の先は、ひざより前に伸ばされていなければいけません。

足のうら以外をわざと床につける、両手でロープを持っていない、足がラインからはみ出るなどの場合、反則になります。

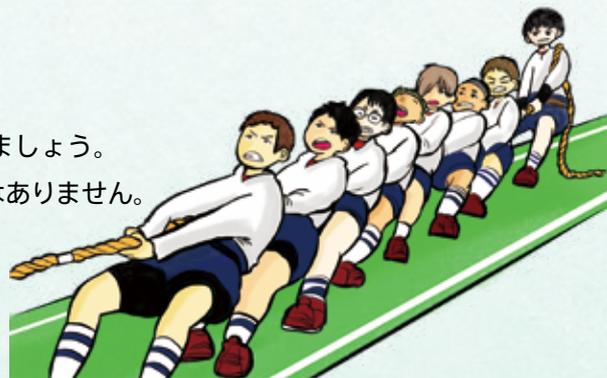
いよいよ競技開始だ！

審判の4回の合図で試合が始まります。

- ・「Pick up the Rope (ピックアップザロープ)」→ ロープを持つ
- ・「Take the Strain (テイクザストレイン)」→ ロープを引く体勢になる
- ・「Steady (ステディ)」→ よ～い
- ・「Pull (プル)」→ ロープを引き合う



- ロープは必要以上の力で握りしめる必要はありません。
- 視線は斜め上にして、ロープが体から離れないようにしましょう。
- 綱引の競技は、ただ強い力で引っ張ればよいというわけではありません。
- 何よりチームワークが大切です。効果的に強い力で引けるように、みんなで息を合わせましょう。



だいたい分かってくれたかの？
綱引はコツさえつかめれば誰でもできるぞ。
運動会やまちのお祭りでも試してみよう。
大事なものはチームワークじゃ！
綱引きを楽しんでくれたら、
またみんなに会いにくるぞ～





つなげています スポーツへの想い

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。

スポーツくじ  